

八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内（八丈町・青ヶ島村）



タメトモユリ
Tametomoyuri

【定点把握疾患】 2026年 第28、29週（7月6日～7月19日）
八丈島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：1件（28、29週）

青ヶ島 なし（28、29週）



ストレチア
Streptococcus

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター

- ・第27週（6月29日～7月5日）：手足口病の定点当たり報告数が3.60と引き続き増加しています。
- ・第28週（7月6日～7月12日）：手足口病の定点当たり報告数は14.33と増加しています。
島しょを除く30保健所が警報基準を超えています。

ひとくち感染症情報 『エシェリキア・アルベルティイ（*Escherichia albertii*）』

令和8年7月に八王子市における食中毒の原因菌と断定されました。

引用：東京都保健医療局

Escherichia albertii は、大腸菌（*Escherichia coli*）に近い細菌で、下痢や腹痛などを引き起こす病原菌です。

2003年に新種として正式に命名され、国内でも集団食中毒事例が報告されています。

【潜伏時間及び主な症状】

潜伏時間は、概ね12～24時間程度と考えられており、主な症状は水様性の下痢です。
このほかに腹痛、発熱、吐き気などを伴うこともあります。

【主な原因食品】

これまでの食中毒事例等では、水、サラダ、鶏肉、弁当等が原因食品又は推定原因食品として報告されています。今までにハトなどの野鳥や豚、猫、サル等から分離されており、食品からは、鶏肉やマトン等からも分離されています。

【予防のポイント】

Escherichia albertii については、未解明な部分が多いものの、大腸菌に近い細菌であることから、以下のような基本的な食中毒対策を行うことが重要です。

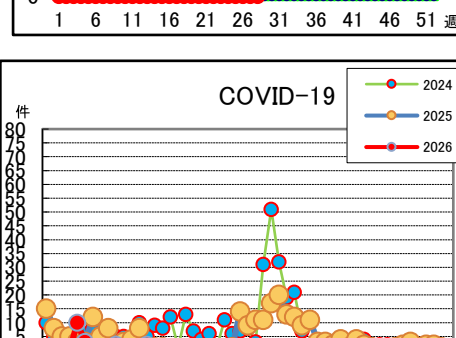
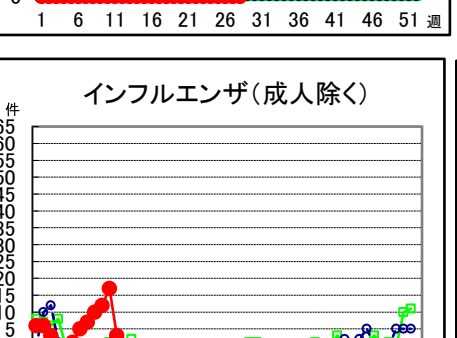
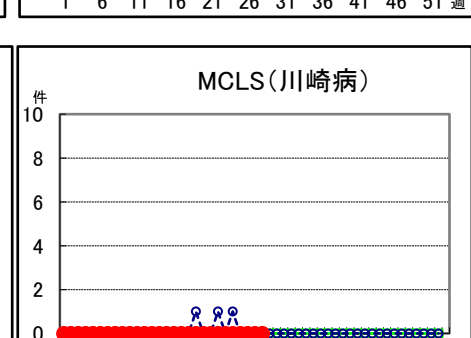
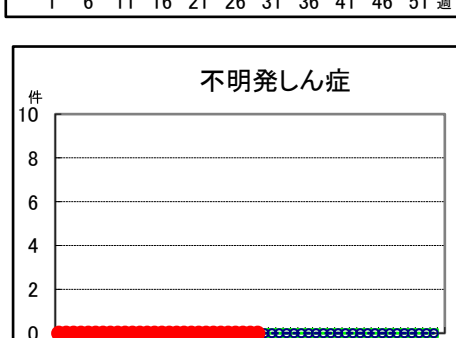
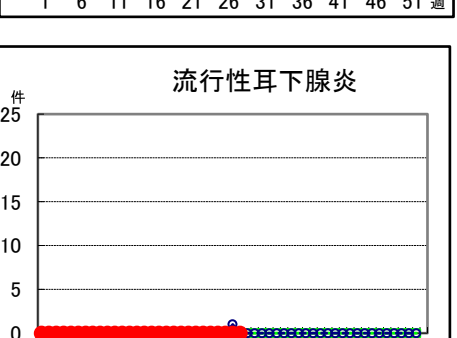
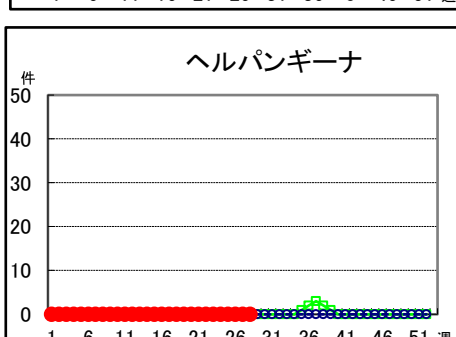
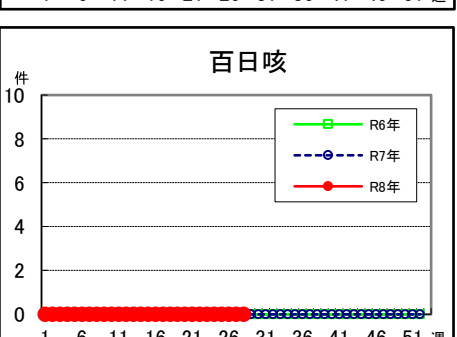
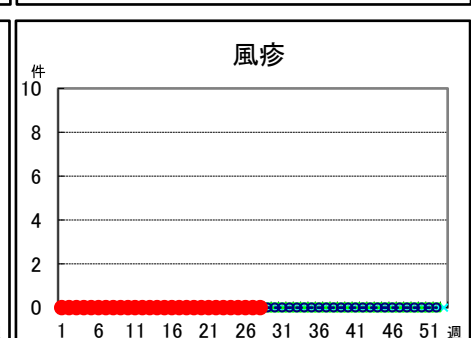
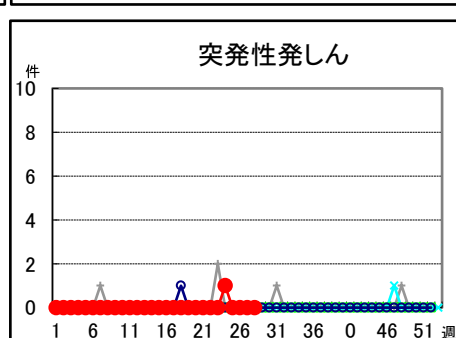
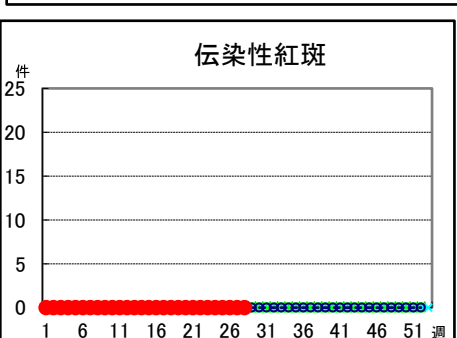
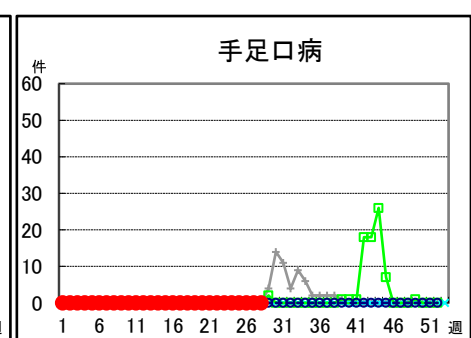
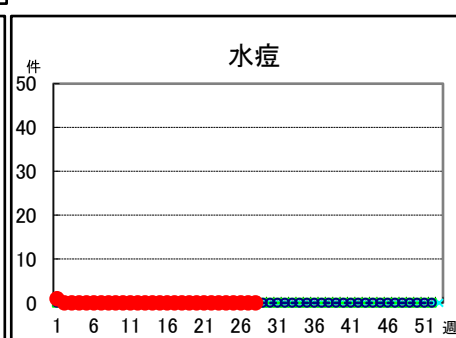
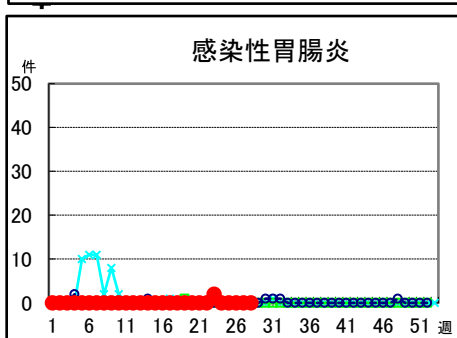
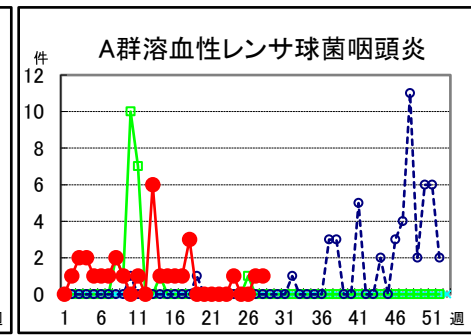
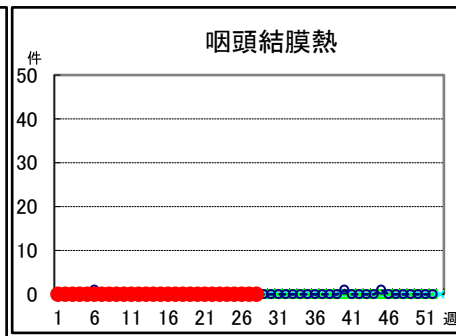
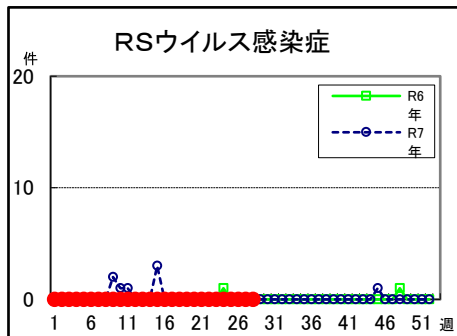
- ・生野菜は十分に洗う。
- ・調理作業前、用便後は手洗いを十分にを行い、消毒する。
- ・調理の際は食品の中心部まで十分に加熱する。
- ・調理済み食品や生鮮食品は室温放置を避け、速やかに冷却する。
- ・使用後の調理器具はよく洗浄・消毒する。
- ・殺菌されていない井戸水や沢水は、飲まない。



島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※八丈出張所管内、東京都（全域）、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

- 島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>
- 東京都（全域）⇒Web版感染症発生動向（東京都感染症情報センター） <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- 全国⇒国立健康危機管理研究機構（感染症情報提供サイト） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>
- 厚生労働省感染対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1



※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握、分析し情報提供することにより、感染症発生およびまん延を防止することにあります。八丈出張所管内では、町立八丈病院、青ヶ島診療所の2施設の医師の診断に基づき集計しています。

【編集・発行】
島しょ保健所 八丈出張所
電話:04996-2-1291
FAX:04996-2-0632